

残土処理費の予算案撤回

その約一カ月後の平成27年7月21日、市長が臨時会を招集。当該土砂の活用方法等を検討するとともに、関係者（市・行政組合・民間事業者）と協議したが、市費負担により土砂を廃棄せざるを得ないとの理由で、土砂の撤去費用試算額9、800万円を予算措置する補正予算案が提出されたが、そもそも一時仮置き土砂をなぜ市費を負担して撤去することになるのか、経過の説明不足と関係者への再協議を議会が指摘したところ、市長は補正予算案を撤回、再度関係者と協議することとなった。

調査の主眼点は

その後、市長が事業者と直接交渉を行い、平成27年8月28日開催の全員協議会において、土砂の撤去費用9、800万円は両者折半の形とし、事業者が当初提案していた地域貢献策（あ

ずま屋、遊歩道、展望台整備等）を縮小・見直すことで、市負担分と相殺する決着を得たとの報告があった。

しかしながら、この時点までに、本件が新聞報道で大きく取り上げられていたこともあり、市民の関心も高く、土砂仮置き経過、太陽光発電事業者の選定方法、土砂撤去費用の発生経過などについて議会としての真相究明を望む声が高まり、事業者との直接交渉で市費負担なしとする市長説明だけでは、市民理解が得られない状況となっていた。

こうした状況を踏まえ、複数の会派から「真相を究明するために地方自治法第100条の規定に基づく調査を行うべき」との声が上がり、平成27年9

審査経過、評価基準は非公開に

当委員会は、市長以下、関係人に対する証人喚問や参考人招致及び請求した多数の資料や記録、そして関係職員の内部情報等をもとに調査し、以下の結論に達した。

奥州万年の森公園地内における太陽光発電事業について、当該事業の導入決定から事業者選定の一連の事務処理は、公募要領、プロポーザル選定要領、そして地方自治法及び市条例等に

月25日の9月定例会最終日、賛成多数（賛成17反対9）により当委員会を設置した。

調査するに当たり、大きな主眼点は次のとおりである。

- (1) 太陽光発電事業決定に至る経過について
 - (2) 太陽光発電事業者の選定に係る経過について
 - (3) 市による残土処理の決定に至る経過について
- この調査の結果、次の事項が明らかになった。
- (1) 不適正な事務処理
 - (2) 損害の発生
 - (3) 市長の責任
 - (4) 求められる改善点

鑑み、公平かつ公正に対する配慮に欠け、地方行政の事務執行の基本から逸脱した不適正な事務処理である。

具体的な事例としては、一事業者の事業計画に依存し、無償での技術協力・支援を受け、事業導入から事業者選定まで同事業者の提案に添う形で進められていること。評価委員会の審査経過、評価基準、企画提案書などを非公開としたこと。さらに、市による残

委員会開催状況

- 平成27年9月25日
調査特別委員会【第1回】
①正副委員長互選について
平成27年10月20日
調査特別委員会【第2回】
①幹事会の構成について ②今後の調査内容等について
平成27年11月26日
調査特別委員会【意見交換会】
助言弁護士2名と幹事7名による意見交換会（仙台市）
平成27年12月2日
調査特別委員会【第3回】
①調査特別委員会運営要領の制定について ②助言弁護士への選任について ③調査権限及び調査経費の追加申し出について ④記録の提出請求について ⑤今後の進め方について
平成27年12月18日
調査特別委員会【第4回】
①調査権限及び調査経費の追加申し出について ②記録の提出請求について
平成28年1月15日
調査特別委員会【第5回】
①記録提出請求について
平成28年2月8日
調査特別委員会【第6回】
①請求資料の確認について ②記録の提出要求について ③作業分担の編成等について ④今後のスケジュールについて
平成28年3月5日
調査特別委員会【意見交換会】
助言弁護士と今後の調査方法等について意見交換
平成28年3月22日
調査特別委員会【第7回】
①要求記録の確認について ②記録の提出要求について ③調査照会について ④平成28年度調査経費の限度額について ⑤幹事長の選任について
平成28年4月20日【第8回】
①記録送付要求及び調査照会の結果について ②今後の進め方について
平成28年4月27日
調査特別委員会【第9回】
①証人喚問に係る証人の選定について ②今後の進め方について ③証人喚問に係る証人の出頭を求める日時について
平成28年5月6日
調査特別委員会【第10回】
①証人への尋問における質問事項について



れたメガソーラー